



## 産業用ロボットスーツを製造販売

染色整理加工業。塗装ロボットに被せる、ロボットスーツを製造販売する。自動車工場、家電メーカーで採用される。今後、より幅広い産業で、ロボットスーツをはじめとする、布小物の需要を開拓したい。

### 業況等の動向について

#### 本業の動向について

染色整理加工を主業とする。業況は、厳しい。綿・ウールといった原料が高騰していること、円高の影響による。

#### 参入事業の概要

塗装ロボットに被せるスーツを製造販売する。自動車メーカー、家電メーカーでの採用が進む。

塗装工程で、スプレーした塗料が舞い散り、ロボットに付着する。それを防ぐためのスーツ。塗料ごとに使い捨てる。ポリエステル製。ジョブチェンジの効率が向上し、ロボットのメンテナンス負荷が軽減した。

#### 異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

染色事業は、賃加工で採算が厳しい。最終製品を手掛けたいと思い、産業用途で布小物の需要がないか、聴き取り調査を実施した。自動車メーカーを訪問した際、現場で困っている事象を聞いて、商品のアイデアが生まれた。

ロボットスーツは売上高 50,000 千円(売上構成比 3%)。ある自動車メーカーでの採用を皮切りに、他のメーカー、バス・トラックメーカー、家電メーカーにもアプローチ中。

#### 参入して最も成果のあったこと

成果のあったことは、お取引する顧客の幅が広がったこと。新しい業界と取引が始まり、自分の持っている技術、商品に新たな気づきがあった。付加価値を再認識した。例えば、帯電防止加工は繊維の中で基本的なものだが、それをロボットスーツに施すことで顧客の満足度があがった。

#### 参入して最も最も困難だったこと

最終製品を手掛けることで、裁断工程、縫製工程を新設した。その原価がどれくらいになるかわからなかった。値決めが難しかった。

新規事業を手掛ける際、社内コンセンサスを得るのが大変だった。

参入に際して活用した自社の技術、ノウハウについて  
特許番号 4659786 塗装作業ロボット用保護カバー

#### 今後の展望・見通し

塗装工程だけでなく、他の工程でも、需要を開拓していきたい。幅広い産業へのアプローチ。

#### メリット・デメリット

メリットは、新しい業界との取引が始まり、情報が色々入ってくるようになった。その情報を本業にフィードバックできるようになった。裁断工程、縫製工程を新設することで、自社の守備範囲が広がった。

デメリットは特になし。

#### 異業種参入時のアドバイス

新分野に挑戦する際、コンサルタントを雇うこともあるだろうが、自ら動いて決断した方がよいのではないかと。いろいろなリスクはあると思うが、周りの協力、行政の支援を上手に使って欲しい。

### 行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度  
特になし

異業種参入に際し、行政に対して望む支援  
展示会の企画など、出合いの場の提供

#### 会社概要

設立: 1956年8月16日(昭和31年)

資本金: 90,000千円

従業員数: 112名(平成23年1月期)

U R L: <http://www.tsuyakin.co.jp>